

酒井佇泉さんが毎日書道展入賞



気になるフレーズ心かけ
第67回毎日書道展(毎日新聞社 毎日書道展主催)の会友・公募部門の最高賞である毎日賞に酒井佇泉(本名・泉)さんが選ばれました。8月11日に市役所田沢湖庁舎へ入賞報告に訪れた酒井さんの作品は「角館のお祭り」を題材としたもの。この作品は、締め切り直前まで試行錯誤したと話します。次回は、冬に開催されるモーグル競技を連想する作品に挑戦してみたいと意気込みを話しました。



酒井さんは、「大学以後遠ざかっていた書道をはじめたのは師匠の導きのおかげ。とても感謝しています」と話しました。

入賞作品。文章は「敬虔な祈りはエネルギーとなってお祭りへ昇華していく。」

全国高校総体で倉橋正斗君が大健闘



9月の国体で雪辱誓う
8月3日、兵庫県で開催された全国高校総体のボート種目で、栗石高校が男子ダブルスカルで準優勝を果たしました。ペアでボートを漕ぐこの競技の選手の一人は、生保内中出身の倉橋正斗君(3年・生保内)。決勝は4艇による1000mのレースとなり、倉橋君ペアは好スタートを切って得意の逃げ切りに入りましたが、残り250m地点で後方から猛チャージをかけてき



倉橋君は、「この悔しさは国体で晴らしたい」と目を輝かせていました。

た全国選抜大会準優勝の若狭高校(福井県)に、わずか0秒18差でかわされました。9月下旬に開催されるわかやま国体(ボート種目は琵琶湖会場)では優勝に期待が膨らみます。

平成27年

国勢調査を行います。

国勢調査は、国籍を問わず、日本に住んでいるすべての人・世帯を対象としています。



国勢調査は、「統計法」という法律に基づき実施し、報告義務が定められています。住民票などの届出に関係なく、10月1日現在、ふだん住んでいる場所で調査することになっています。また、この調査の結果から得られる人口は、選挙区の区割りや仙北市の収入となる地方交付税の算定の基準などに利用されます。

9月10日から

調査員が順次各世帯を訪問して書類を配布します。

※調査で知り得た世帯の内容は、厳重に保護されますので、ご安心ください。

かたり調査にご注意ください

国勢調査員は、「国勢調査員証」「腕章」を身に付け、「国勢調査書類入れ」を携帯します。

平成27年国勢調査では、回答方法を選ぶことができます

9月10日から20日まで先行してインターネット回答ができます

パソコン、タブレット、スマートフォンで、好きな時間に回答ができます。インターネットで回答された世帯には紙の調査票の提出が不要となるため、調査員の訪問がありません。



※インターネット回答で入力できない漢字は、ひらがなで入力することができます。

インターネット回答がなかった世帯には調査員が調査票をお配りします

配布された調査票(紙)に記入し、調査員に渡していただくか、郵送で提出できます。提出は、10月1日から7日までをお願いします。



国勢調査については、「国勢調査2015キャンペーンサイト」をご覧ください。

詳しくは **国勢調査2015** 検索 <http://kokusei2015.stat.go.jp/>

仙北市企画政策課 情報統計係 ☎43-1112 FAX 43-1300
コールセンター ☎0570-07-2015 (固定電話の場合、市内通話料金)
IP電話の場合 ☎03-4330-2015 (所定の通話料金)



ふるさとの武将戸沢氏を讃えて

第19回戸沢氏祭 第3回戸沢サミット in 仙北

8月17日、桧木内川河川公園を主会場に「戸沢氏祭」が開催されました。

お家行列の出陣式を真山寺で行った後、出発した総勢200人余りの一行が、門屋城址を経由して、桧木内川河川公園までゆっくりと練り歩きました。

会場では、魚のつかみ捕りや田沢湖龍神太鼓、手踊りなどの催し物が次々と行われていましたが、時折雨が強く降り出す空模様となりました。それでも、予定どおり夜には灯籠流しや花火大会が行われるなど、大勢の人が最後までお祭りを楽しみました。

また、同日には、「第3回戸沢サミット in 仙北」がたざわこ芸術村(温泉ゆぼぼ)を会場に開催されました。

このサミットは、戦国武将戸沢氏に縁のある岩手県雫石町、茨城県小美玉市、同県高萩市、山形県新庄市と本市が戸沢氏の顕彰と後世への伝承・地域活性化につなげることを目的に、平成25年度から始まったもので、熊谷徹教育長が「中世の北浦地方における戸沢氏」と題した講演を行ったほか、西明寺中の生徒による戸沢氏にまつわる寸劇が披露されるなど、有意義な時間を過ごしました。



「戸沢氏祭」では、真山寺で出陣式を行ったあと、門屋城址を経由し、主会場となる桧木内川河川公園までお家行列が練り歩きました(左上)。「戸沢サミット in 仙北」では、戸沢氏が伝えたといわれる戸沢ささらが披露され、会場から大きな歓声が上がりました(右上)。また、西明寺中学校の生徒たちによる寸劇では、迫真の演技で観客を魅了し、会場は物語の世界に引き込まれました。



第45回生保内節盆踊り大会

盆行事のフィナーレ飾る

8月20日、田沢湖庁舎前駐車場で第45回生保内節盆踊り大会が開催されました。
 今年は、多くの参加を募るため「盆踊り大会」としてリニューアルし、盆踊り賞や仮装賞、団体賞など各種賞品が用意されました。
 当日は、民謡「生保内節」の元唄に合わせた手踊りや地元元の郷土芸能である石神稲穂太鼓、生保内田植え踊りなどが行われたほか、だしの園職員有志による踊りも



繰り広げられ、会場は賑やかな雰囲気になりました。

しなやかな踊り手や子どもたちが大きな輪になり、演奏に合わせて会場を何周も踊りました。

子どもふらと交流推進事業

女川の子どもたちと交流

8月10日から12日まで宮城県女川町の小学生15人が仙北市を訪れ、農山村体験、自然体験、文化体験を通じて交流を深めました。
 初日は、田沢湖自然体験センターで地元の子どもたちと石窯でピザ作りや田沢湖でカヌー体験を楽しみました。二日目は農家民宿に泊まり、夏野菜を収穫したり、流しそうめんを食べたり楽しい思い出を作りました。最終日は、たざわこ芸術村でお別れ会が行わ



海育ちの女川の子どもたちは、田沢湖でのカヌー体験に興奮気味。たっぷり楽しんだ後、石窯で焼いたピザも美味しくいただきました。

れ、子どもたちは農家民宿の方々へお礼に地元「さざなみ太鼓」を披露しました。

秋田県総合防災訓練

いざというときのために心がけよう

8月9日、仙北市全域で秋田県総合防災訓練が実施されました。
 この訓練は、県が主催し毎年行っているもので、災害発生時の応急対策について訓練するものです。



角館地区では倒壊建物からの救出（右上）、田沢湖高原地区では逃げ遅れ者を自衛隊ヘリが救出（右）、田沢湖庁舎に設置された災害対策本部（左）、訓練後に講評を述べる佐竹知事（左下）。

訓練の前段では、横手盆地・真昼山地区を震源とする地震が発生し、家屋の倒壊や火災などに対応するため、関係機関の連携による救助活動や住民主体の消火活動など、後段では、秋田駒ヶ岳の火山活動が活発化して住民が大規模な避難を行うという想定で、関係機関55団体など約1800人の方々が参加し、市内全域で各訓練を行いました。

角館地区では自主防災組織の避難訓練や倒壊家屋からの救助など、西木地区では初期消火訓練や避難所開設訓練、日本赤十字秋田県支部の講話などが行われました。田沢湖地区では災害対策本部を設置して火山に対応するほか、田沢湖スキー場で発生した負傷者を救助してヘリコプターで搬送する訓練が行われました。

今回の訓練統監を務めた佐竹知事は、「仙北市の課題を盛り込んだ実動的な訓練だった。参加された市民の皆さんに、災害対応のイメージを構築する機会となってもらえたらよい」と講評を述べました。

平成27年度仙北市成人式

新成人が誓いのことばで気持ち新たに

平成27年度仙北市成人式が仙市民会館で8月15日に開催されました。今年の新成人は平成6年4月2日から平成7年4月1日までに生まれた278人が対象で、式では新成人の田口真由紀さんが司会を務め、成人者を代表し、加藤清志さんに成人証書が授与されました。



新成人を代表して、加藤清志さんに門脇市長から成人証書が手渡されました。

誓いのことばでは、浅利萌菜さんが「この日を迎えるまでに支えてくれた家族や周りの方々に感謝したい」、阿部心聖さんが「目標を達成した先に次のステージが広がっている。チャンスや変化を感じながら歳を重ねていきたい」、真崎宏也さんが「挑戦と失敗を重ねながら成長していきたい」と抱負を述べました。



それぞれ「誓いのことば」で、将来の抱負を述べた浅利萌菜さん（上段）、阿部心聖さん（中段）、真崎宏也さん（下段）。3人は自分の夢に向かって前進していくことを誓いました。

■成人式当日に出席できなかった方へ
 成人証書を9月30日まで生涯学習課で保管していますので、受け取りに来てください。
 受取場所・問合せ／教育委員会 生涯学習課（角館庁舎2階）
 ☎(43) 33003

角館の伝統芸能ささら舞

3体の獅子が勇壮に舞う

8月15日、角館地区で「ささら舞」が昼の部、夜の部の2回にわたり行われました。
 この行事は、角館の観光行事実行委員会主催によるもので、昼の部では、角館榊細工伝承館で広久内ささらが、白岩雲巖寺で白岩ささらと堂野口ささらが、それぞれ勇壮な舞を披露しました。
 ささらは、佐竹家が常陸から秋田に国替えになった際に伝えられ、400年以上の歴史を持つと



雲巖寺では、白岩と堂野口ささらの演舞が繰り広げられ、多くの観客を沸かせていました。

いわれています。
 現在は盆行事の一つとして、地域で大切に守り継がれています。

第1回田沢湖駅前広場夏まつり

親子連れや見物客で賑わう

8月15日、JR田沢湖駅前広場で、「第1回田沢湖駅前広場夏まつり」が開催されました。
 この催しは、田沢湖駅前広場を活用する会（通称IIこまちの会・村上陽子会長）が主催し、駅前に賑わいと地域活性化を目的に、今年初めて行われたものです。
 当日は、地域の伝統行事である梵天や梅沢ささらをはじめ、石神番楽や田植え踊りなどが行われ、梵天との記念撮影を楽しむ親子連



向生保内・下宿・石神の各集落の梵天が華やかに披露されました。

れや地元郷土芸能を見物に訪れた多くの人で賑わいました。
 こまちの会では、今後もイベントを継続開催していく予定です。